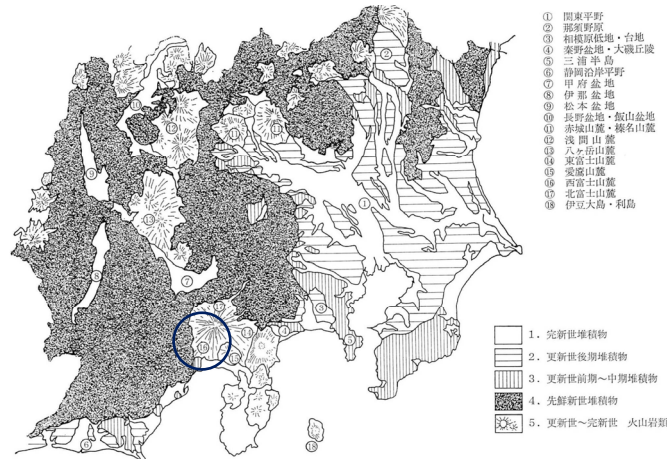


16.西富士山麓（富士西麓）

3.関東地方



地形・地質

西富士山麓は面積約 450km² の地域で、美しいスロープと広大な裾野をもち、その山脚部には猪之頭・白糸の滝・淀師、富士宮湧玉および吉原浅間神社などの大湧泉が点在します。

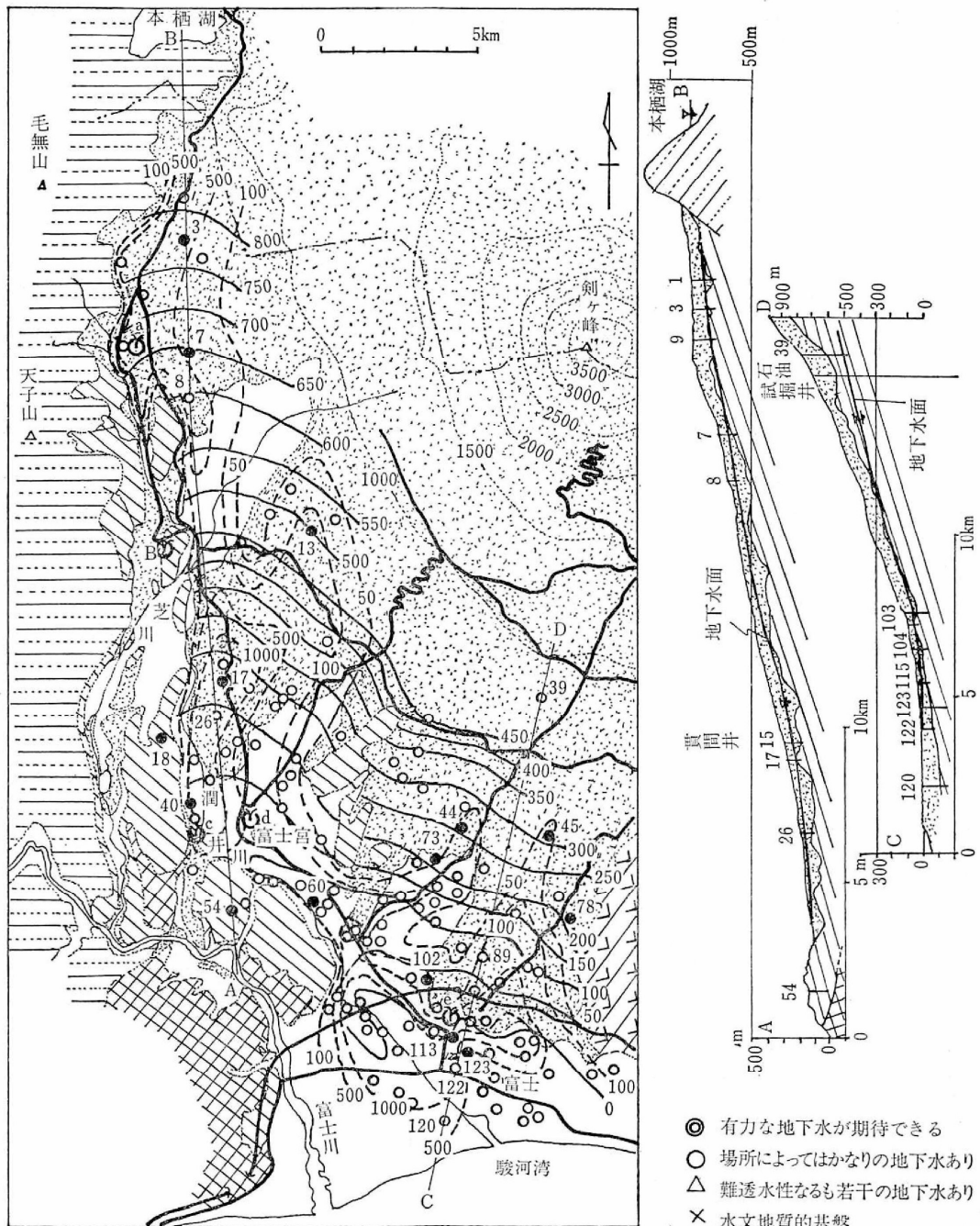
地下水

洪積層Ⅱは愛鷹火山噴出物、洪積層Ⅲは古富士火山噴出物と段丘礫層が帯水層となっていて、場所によって有力な地下水が期待できます。沖積層Ⅰは新富士火山の噴出物が、沖積層Ⅱは未固結の砂礫層が有力な帯水層です。

富士火山（西富士山麓）水文地質層序表

地質時代	層序	岩相	地下水	
第四紀	完新世	沖積層Ⅱ	現河床砂礫、海浜砂礫、シルト、扇状地礫	◎
		沖積層Ⅰ	新富士火山の溶岩、凝灰角礫岩、火山砂礫、火山砂	◎
	更新世	洪積層Ⅲ	古富士火山の泥流、火山砂礫、段丘礫、ローム	○
		洪積層Ⅱ	愛鷹火山の溶岩、火山碎屑岩、ローム	○
		洪積層Ⅰ	別所礫層の砂礫、岩淵火山の集塊岩	△
第三紀	中新世	中新層(基盤)	砂岩、礫岩、泥岩、凝灰石、凝灰角礫岩	×

- ◎ 有力な地下水が賦存する。
- 場所によってはかなりの地下水が期待できる。
- △ 難透水性なるも若干の地下水は期待できる。
- × 不透水層（水文地質的基盤）



- | | | | |
|--|---------|--|----------------|
| | 沖積層 II | | 現河床堆積層、扇状地堆積層 |
| | 沖積層 I | | 新富士火山の溶岩、火山砂礫層 |
| | 洪積層 III | | 古富士火山噴出物と段丘礫層 |
| | 洪積層 II | | 愛鷹火山噴出物 |
| | 洪積層 I | | 別所礫層と岩渕火山岩類 |
| | 中新統 | | 富士川層群と御坂層群 |

-
-
-
-
-
-
-
-
-

西富士山麓の水文地質図

出典 日本地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）